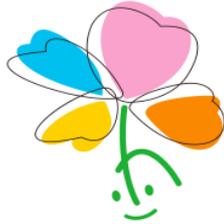


平成30年3月3日(土)

広島県生涯学習研究実践交流会



はまだっ子共育プロジェクト について



島根県 浜田市教育委員会
社会教育主事

星野 明洋

地域ぐるみで子どもを育み
子どもも地域(大人)も高まり合おう

ポイント

- ◆ 地域ぐるみで
- ◆ 子どもも大人も

共に育てる

共に育つ

共育

取組内容

子どもたちの一日の生活に着目し それぞれの場面における取組を行う

家庭

学校

放課後や休日

家庭

学校支援・ふるさと教育 地域の力を学校へ！

学習支援活動

登下校見守り

学校環境整備

学校行事参加

ふるさと学習や
キャリア教育の支援
★地域の「人・もの・
こと」を活かした学
習を支援し、地域の
よさや魅力を伝える。

放課後や休日の支援 子どもの居場所や体験を！

放課後子ども教室
遊び・体験・居場所等
自由な空間

放課後児童クラブ
遊び及び生活の場
放課後児童健全育成事業

放課後
子ども総合プラン
連携・一体化をめざす

長期休業等におけ
る体験活動・居場所
づくりの取組

家庭教育支援 互いに語り合って 支え合って！

子育て世代の
学びやつどい
・はまだ親子共育応援P
・子育てサロン 等

子育て世代を
地域で支える取組
・三世代・多世代交流
・通学合宿 等

家庭読書の推進
・生活習慣
・親子のふれあい

子育て世代への
相談体制の充実
・家庭教育支援組織

人的

発展的

連携・協働

継続的

連動的

- ★子どもたちの一日の生活に着目！
- ★それぞれの場面における活動！
- ★地域のさまざまな力の結集！

地域の力を学校へ！



小中学生 柿園の見学



中学生 職場体験学習会



小学生 ワカメ干し体験学習



中学生 地域の防災学習

子どもの居場所や体験を！



放課後子ども教室(児童クラブとの連携)



中学生 土曜学習支援 マナビィはまだ



小学生 親子自然体験(川遊び)



小学生 登下校の見守り

互いに語り合って 支え合って！



HOOP!(はまだ親子共育応援プログラム)



HOOP!(はまだ親子共育応援プログラム)



小学生 通学合宿(親子振り返りの会)



三世代交流(親子農業体験)

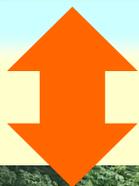
ふるさと教育・教科学習



まちづくり活動



放課後や休日



島根県 ふるさと教育推進事業(H17年度～ 13年目)

定義 地域の教育資源(ひと・もの・こと)を活かした教育活動

目指すもの

学校 「ふるさとへの愛着や誇りの醸成」
「地域に貢献しようとする意欲の喚起」

地域 「地域住民のふるさとへの理解促進」
「地域を支える次世代の育成」

主な取組

学 校

◆学習の深まりを意識した指導の充実

- ・年間35時間以上実施
- ・系統性・発展性のあるふるさと教育の展開
- ・中学校区ふるさと教育全体計画・ふるさと教育一覧表の作成

地 域

◆地域の課題解決に向けた取組の充実

- ・地域における体験活動の充実
- ・担い手育成など地域の課題をテーマとした取組の充実
- ・学校支援体制の充実

市町村

◆体制づくり

- ・推進計画の策定
- ・ネットワーク会議の開催
- ・指導 助言
- ・研修会の実施
- ・情報発信

浜田市

地域の拠点である
公設公営の公民館を
ネットワークの拠点に！

～H27 はまだっ子活動支援運営委員会

H17～
ふるさと
教育推進
事業

H20～
学校支援
地域本部
事業

H16～
放課後
居場所
事業

放課後
子ども
教室

放課後
子ども
プラン

児童クラブとの連携

親学
プログラム

家庭教育
支援事業

乳幼児期
親の学び
プログラム

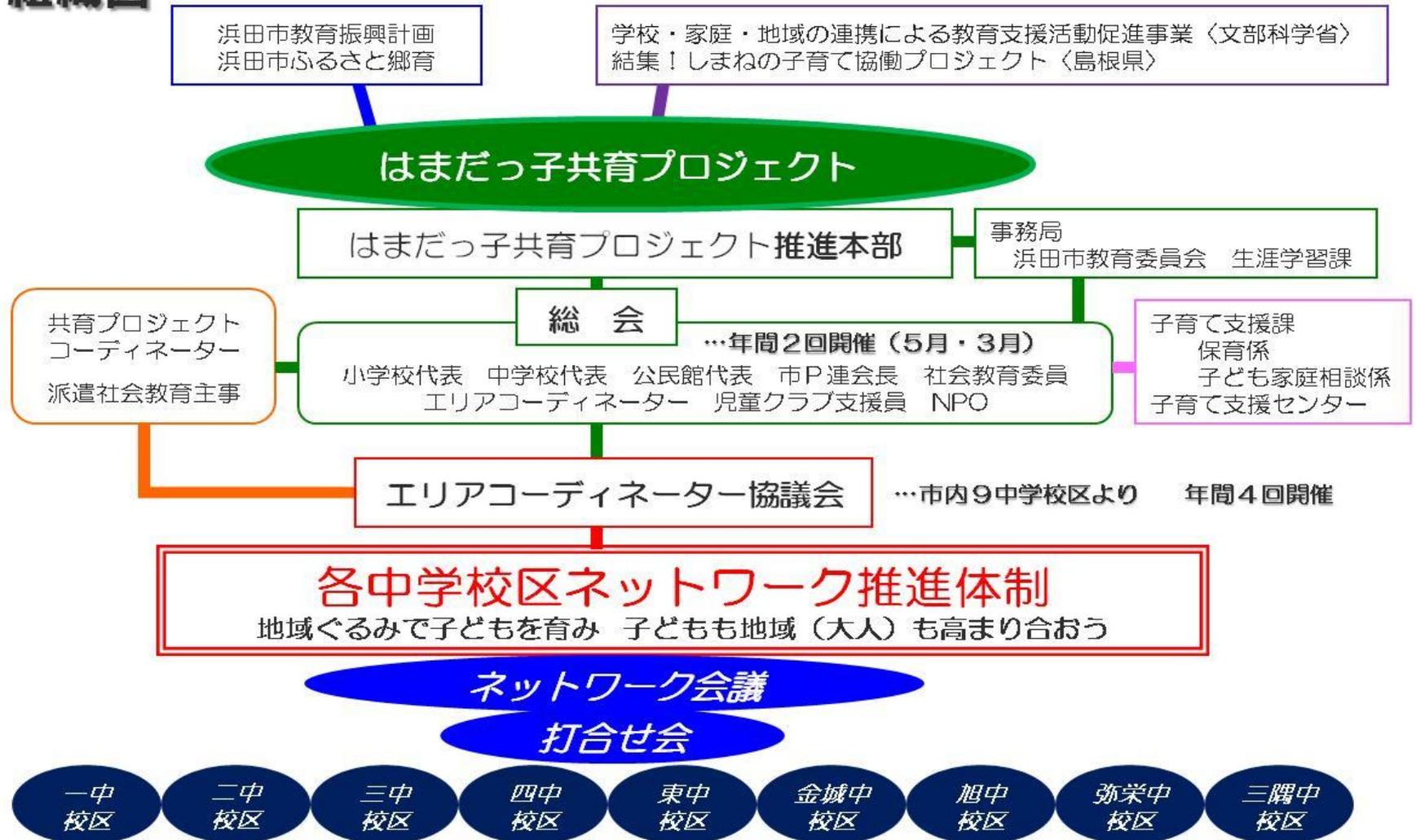
問題点

どれも各々で進めていて
バラバラ感がある。
広がりや深まりが得られにくい。

ふるさと教育のネットワークを活かし
「公民館」をプロジェクトの拠点に！

推進体制

組織図



中学校区パターン例

A中学校区

中学校	
A小学校	児童ク
B小学校	児童ク
C小学校	児童ク
公民館	子ども 教室

B中学校区

中学校	
A小学校	児童ク
B小学校	児童ク
C小学校	児童ク
A公民館	子ども 教室
B公民館	子ども 教室

C中学校区

中学校	
小学校	児童ク
A公民館	子ども 教室
B公民館	
C公民館	
D公民館	
E公民館	

校区ネットワークイメージ



共育Pコーディネーター

◆＝統括的なコーディネーター
浜田市の子どもたちを地域ぐるみで育むための
諸活動についての総合的な調整役

◆役割

- ①方針、活動に関する指導助言
- ②人材発掘・人材育成への支援
- ③研修等の企画に関する指導助言
- ④エリアCN間の連絡調整
- ⑤派遣社会教育主事との連携による指導助言

エリアコーディネーター

◆＝地域コーディネーター
各中学校区において、人や活動をつなぎ、地域
ぐるみで子どもを育むための中核的立場。

◆役割

- ①エリアにおける共育プロジェクト推進
- ②エリアにおける学校や団体等との連絡調整
- ③ネットワーク会議等の開催
- ④共育プロジェクトについての周知・啓発
- ⑤エリアにおける情報収集・情報提供

活動コーディネーター

◆＝学校支援コーディネーター[外部CN]
・学校支援における学校とボランティア
との連絡調整
・活動に関する打ち合わせ会の実施
・公民館職員との連絡調整・報告等
※エリア内学校支援CN数＝学校数

◆＝放課後支援コーディネーター[外部CN]
・放課後子ども教室についての企画運
営等の中核
・関係者、住民、学校等との連絡調整
・活動に関する協議の場の設定・進行
・教育活動推進員、教育活動サポーター、
ボランティア等との連絡調整・助言
※外部団体における子ども教室にのみ配置。
※公民館主体の場合は公民館職員による。

はまだっ子共育プロジェクト総会(年2回)



- ・推進委員による方針の決定
- ・活動報告の承認
- ・必要に応じた協議・決定

○推進委員

- ・小学校代表
- ・中学校代表
- ・公民館代表
- ・市P連会長
- ・社会教育委員
- ・エリアコーディネーター
- ・児童クラブ支援員
- ・NPO
- ・統括コーディネーター
- ・派遣社会教育主事
- ・事務局

エリアコーディネーター協議会(年4回)

・各中学校区のエリアコーディネーターが集まり、プロジェクトの進捗状況や成果、課題等を共有したり、検討したりする場。

第1回(4月) 推進方針の確認と共有

第2回(7月) 進捗状況の確認、成果・課題の共有と検討

第3回(12月) 進捗状況の確認、成果・課題の共有と検討

第4回(2月) 総括・次年度の推進に向けての確認

情報共有の場

協議の場

評価の場

研修の場



中学校区 ネットワーク会議(年1~2回程度)



○各中学校区における 共育推進のための議論の場

- ・情報共有
- ・研修(ワークショップ)
- ・協議

○参加者

※各中学校区による構成

- ・学校(管理職・担当者)
- ・地域(コーディネーター・公民館)
(児童クラブ・子ども教室)
- ・家庭(PTA)
- ・その他(教育関係者等)



ワーキング会議・打ち合わせ会(定例または適宜)



- ・各中学校区における
具体的な活動に向けた協議
- ・タイムリーな開催
- ・実働のための打ち合わせ

共育のつどい(適宜開催)

※もともとは「学校支援ボランティアのつどい」として開催していたが
H29年度よりすべてのボランティア対象のつどいとしている。

- ・ボランティアも含めた交流・研修・協議の場
- ・活動のふり返りや思い等の共有の場
- ・ボランティア同士の交流の場



27年度 はまかつ研修会

- 特別支援・子ども対応
- 放課後子ども総合プラン
- ボランティアコーディネート
- 共育シンポジウム

28年度 共育P研修会

- 放課後支援
- 放課後子ども総合プラン
- 家庭読書
- 子ども理解
- 学童保育



29年度 共育P研修会

- 放課後子ども総合プラン
- 放課後支援 ～連携～
- 宿泊を伴う活動スタッフ
- 子ども理解
- 家庭教育支援
- 学校・家庭・地域の連携・協働
- 人づくり・郷づくり交流会



成果（見えてきたこと・手ごたえ）

- 浜田市全体としての**理念の確立**
 - 共通認識、方向性＜ベクトル合わせ＞
- **組織の確立**
 - 実践に向けた拠点、協議体の確立
 - 具体的な活動の充実
- 地域ぐるみで子どもを育む**機運の高まり**
 - 理解者～増 活動者～増
- 公民館事業、地域づくりに向けた**取組との関連**
 - 公民館事業と共育プロジェクトの取組の関連～深化
 - 教育と福祉、地域振興との関連～深化
 - 地域づくりに向けた取組への展開～進化

学校支援・ふるさと教育活動日数
(幼1・小16・中9・県立3)

のべ**1,227**日

内訳

- ・学習支援 420日
 - ・その他支援 807日
- (環境整備・登下校見守り 等)

学校支援・ふるさと教育に関わった地域の方々

のべ**6,668**人

浜田市内にある放課後子ども教室

全**14**教室

開設日数 計 **808**日

参加児童数 のべ**7,883**人

家庭教育支援

親学講座 17回
三世代交流 15事業
通学合宿 4校区

浜田市内の子どもたちのために
本当にたくさんの地域の方々の
大きな力を結集していただいています！

課題(今後の発展に向けて)

- 各中学校区における推進体制の整備・強化
 - 学校・家庭・地域が集い語らう場や機会の充実
 - ビジョン、思い・願い、情報等の共有
 - 学校教育とのさらなる連携
- 活動の質の向上(地域学校協働活動に向けて)
 - ねらい、成果等を見通した実践の積み上げ
 - 多様な主体による真の協議の場づくり
 - コーディネーター、ボランティア等の育成 = 研修の充実
- 公民館業務の整理(エリアCNの負担軽減)
 - 公民館職員の役割の明確化
 - 共育P、ふるさと郷育、地域づくり等の関連強化

はまだっ子共育プロジェクトの推進に向けて

取組において必要不可欠な人・もの・こと

- 共育プロジェクトへの理解と熱い思い
(学校・管理職、地域、関係者)
- エリアCNの
理解、人脈、実行力、情報収集・発信力
- 公民館職員の理解と相談体制、協働姿勢
- 会議の質の向上
- 学校や地域の協力
- 保護者等の「若い力」
- 教職員とのかかわり、コミュニケーション
- 学校、地域の相互理解と信頼
- コーディネーターやボランティアの研修
- 子ども理解(発達、家庭環境、権利 等)
- まちづくり計画との関係性
- 仲間の存在

プロジェクトの推進を阻む要因

- 温度差 (公民館、関係者)
- 理解不足
(CN自身、保護者、関係者、地域、学校)
- 地域のまとまり
- エリアCNへの負担 = 公民館の仕事量
- ボランティアさんの高齢化
- ボランティアさんの交通の便
- ボランティアさんの意識(校区、今昔…)
- 人員不足
- 学校との連絡調整
- 計画不足
- キーパーソンの姿勢
(トップの考え方、児童クラブ、町内会長)
- 学校からの信頼のなさ

暮らし続けたい地域

はまだっ子共育
プロジェクト

子どもの「今」を大切にする
次代を担う子どもを育む
〔次の世代を担う人〕

地域づくりを
担う
人材育成
(人づくり)

郷づくりの推進
(地域づくり)

今を担う地域人材を育む
〔地域づくりを担う人〕

ふるさと郷育

ふるさとを愛し 誇りに思う心を育む
〔ふるさと浜田を支える人〕

社会教育施設等の充実

公民館 図書館 博物館 社会体育施設 等
〔地域づくりを担う人たちの拠点〕

最後までおつきあいいただき
ありがとうございました。



はまだっ子共育プロジェクト

地域ぐるみで子どもを育み
子ども地域(大人)も高まり合おう